

TTC主催会合

TTC・XGPフォーラム共催セミナー「ドローン利活用の最新動向と国際的な応用事例」開催

TTC事務局 角方 重明

開催日時：2025年11月27日（木）14:00～16:20

開催方式：オンライン

主催：一般社団法人 情報通信技術委員会（TTC）

共催：XGP フォーラム

参加者：111名

セミナー概要：

目的／背景 近年、ドローン技術は社会インフラ点検や防災、環境モニタリングなど多様な分野での利活用が進展している。本セミナーでは、AI や通信技術を活用したアジア地域での最新応用事例を共有し、ドローン利活用の国際的連携と標準化促進を目的として開催された。

講演内容

- ・ドローン搭載センサーによる大気物質のリアルタイム測定技術の紹介：環境監視や工場排出ガスの3Dマッピング事例を示した。
- ・AI-RAN 6G ネットワークを活用し災害前の予測的行動を可能にするドローン群制御の研究を報告。
- ・教育・研究現場でのドローンプログラミングや医療物資輸送など実証的事例の紹介。
- ・サーマルカメラによる地表火災の早期検知手法の発表。
- ・sXGP 通信の上空利用・ドローン応用事例を紹介：免許不要の通信基盤としての将来性を示した。

総括：

質疑応答では、ドローンへのセンサー搭載の自由度や測定環境への適応性、通信安定性など具体的な技術的質問が寄せられた。sXGP の導入課題としては通信速度と帯域拡張の要望があり、費用面ではWi-Fi と同等のコストで導入可能との回答があった。また、上空利用や携帯網とのローミング制度整備により、新たなユースケース拡大が期待されることが示された。参加者からは、ドローン技術と通信基盤の融合が防災・物流・教育など幅広い分野で実用化の可能性を広げるとの意見が多く寄せられた。

司会：XGP フォーラム 事務局長 入部 良也氏

時間	プログラム
14:00～14:05	開会挨拶 TTC BSG 専門委員会 委員長 山本 秀樹氏（沖電気工業株式会社）
14:05～14:25	講演1「今まで測定不可能だった空域のドローンを使用した大気物質調査」 株式会社中京電気 新事業部 岩附 直子氏
14:25～14:45	講演2「ドローン技術と AI-RAN 6G ネットワークによる状況認識と予測的アクション」 「Drone Technologies and AI-RAN 6G Networks for Situational and Anticipatory Action Before Extreme Events」Ateneo Innovation Center Ateneo de Manila University アテネオ・デ・マニラ大学 アテネオ・イノベーションセンター Greg Tangonan 氏
14:45～15:05	講演3「空中ドローンを用いた概念実証の開発：サラワク工科大学における事例研究」 「Developing Proof-of-Concepts with Aerial Drones: Case Studies from University of Technology Sarawak」 University of Technology Sarawak サラワク工科大学 Daniel Tan Yong Wen 氏
15:05～15:25	講演4「ドローン搭載サーマルカメラによる地表火災検知」 「Ground fire detection using drone thermal camera」 CIMTROP UPR パランカラヤ大学 泥炭地研究センター 泥炭地研究ラボ Kitso Kusin 氏
15:25～15:35	休憩
15:35～15:55	講演5「期待されている sXGP の応用事例と今後の展望」 オーガニック・コミュニケーションズ株式会社 代表取締役 藤井 聡氏
15:55～16:15	講演6「sXGP のユースケースの拡大と活用事例紹介」 XGP フォーラム 最高技術顧問 近 義起
16:25～16:30	閉会挨拶 XGP フォーラム 議長 一般社団法人情報通信技術委員会 代表理事専務理事 岩田 秀行



左から 入部 良也氏、藤井 聡氏、近 義起氏、岩田 秀行



上段左から 岩附 直子氏、Greg Tangonan 氏
下段左から Daniel Tan Yong Wen 氏、Kitso Kusin 氏
(リモート講演)